



第17号
 平成20年3月1日発行
 発行者
 聖パウロ学園内務局
 〒525-8566
 草津市野路町178
 ☎077-564-5600
 ☎077-564-5136
 www.kousen.ed.jp

会長挨拶

会長 和田 充史 (15期生)



次第に春本番を迎えようとしております。今日この頃、同窓生の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

聖パウロ学園同窓会会長を務めさせて頂き、2年が経ちました。これまで同窓会ならびに同窓会・総会を行ってきた中で様々な経験をさせて頂いていることに感謝するとともに、ご支援ご協力いただいている同窓生の皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、本校は今年で創立20周年という大きな節目を迎え、進学面・部活動面共に、目覚ましい活躍を遂げ、県内屈指の私学となっております。

昨今、世間では、教育に関する問題が大きく取り上げられ、保護者の皆様の本校に対する期待や関心も大きいものだと思います。単に進学率という表面的な数字だけにとらわれるのではなく、「一人一人の個性を伸ばしていくことが大切です。将来立派な人間として

社会で活躍できるように教えるべきではないかと悩まれません。

そのためには、「キリスト精神に基づく人格形成」、「先生方や保護者の皆様、同窓生による三位一体の取り組み」、「同窓生による光泉ネットワークの構築」という三つの取り組みを実践することであると考えています。特に、「同窓生による光泉ネットワークの構築」につきましては、我々同窓会の果たす役割が大きいことから、卒業後も母校への協力がスムーズにいくよう、今後、毎年行われる同窓会総会などを通じて、学年の絆を超えた縦と横の繋がりを目標に、同窓生の皆さんと親睦を深め、より大きな光泉ネットワークを築いていきたいと考えております。

この三つの取り組みによって創立当初からの目標である「滋賀に光泉あり！」という大きな夢を実現することができるようではないでしょうか。

また部活動の面にお

きましては、バスケットボール・テニス・陸上がインターハイに、卓球や剣道も近畿大会に出場し、放送将棋も全国大会に出場しました。このように、全国の舞台で活躍する部や生徒が出てきてくれたことは、私自身、一人の同窓生として、大変嬉しく誇りに思っております。

今後、同窓会は、日々の厳しい練習の中で、成果を挙げていくクラブに関しては、積極的に支援し、より母校が発展していくための手助けをしていくと考えております。

先ほども申しましたように、本校は今年で創立20周年を迎えます。来年には創立20周年記念行事を予定しており、同窓会としましては、学園と協力し合い、取り組んでまいりたいと考えています。

我々同窓会は「将来につながる光泉教育の実現」を合言葉に、「地の塩世の光」となる人間の輩出、「愛と正義、そして責任ある自由」の精神

同窓会の皆様方には、益々の清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育に格別のご理解とご支援を賜わり、厚くお礼を申し上げます。

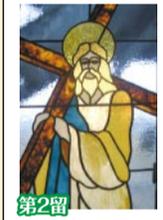
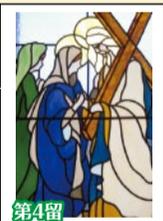
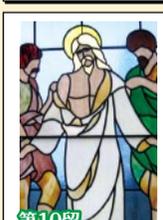
この度同窓会新聞を発行されますことに心よりお喜び申し上げます。

本学園は、昭和63年4月1日に聖パウロ学園を開校し、満20歳を迎えました。この3月に卒業した生徒含んで、これまでの卒業生数は3,940名となり、その卒業生の皆さんが社会に出られて

母校チャペルのステンドグラスについて

チャペルのステンドグラスは、11期生以降の卒業記念品です。12期生以降は「十字架の道行」を寄贈してくれました。その「十字架の道行」が、平成19年の卒業生から寄贈されたもので、ついに14留までそろいました。

十字架の道行は、イエスの受難を偲んで受難の道のりの途中に起こった14のエピソードを思い起こし、霊的にキリストと歩もうとするものです。道行の全場面は以下のように飾られています。

 第1留 イエス、死刑の宣告を受ける	 第2留 イエス、十字架を担わされる	 第3留 イエス、倒れる
 第4留 イエス、マリアに会われる	 第5留 イエス、キレネ人シモンの助力を受ける	 第6留 イエス、ヴェロニカより布を受け取る
 第7留 イエス、再び倒れる	 第8留 エルサレムの婦人たちを慰める	 第9留 三たび倒れる
 第10留 イエス、布を剥がれる	 第11留 イエス、十字架に釘付けにされる	 第12留 イエス、十字架に死す
 第13留 イエス、十字架よりおろされる	 第14留 イエス、墓に葬られる	

一度見に来てください。

聖パウロ学園は創立20年を迎えて輝いています



校長 馬場 勲

同窓会の皆様方には、益々の清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育に格別のご理解とご支援を賜わり、厚くお礼を申し上げます。

この度同窓会新聞を発行されますことに心よりお喜び申し上げます。

本学園は、昭和63年4月1日に聖パウロ学園を開校し、満20歳を迎えました。この3月に卒業した生徒含んで、これまでの卒業生数は3,940名となり、その卒業生の皆さんが社会に出られて

様々な分野で活躍されておられますことは、すばらしいことであり慶賀に堪えません。

先輩方が築いてこられたすばらしい校風を受け継ぎ、現役生徒たちは勉強に部活動に活躍をしてくる多くの成果を挙げてくれています。生徒数も増え、中学及び高校合わせて1,150名となっております。

学園の創立20周年記念行事は、今年の10月22日(水)に記念式典(びわ湖ホール)、祝賀会(大津プリンスホテル)を実施します。

いま、日本の社会は自由競争、規制緩和の流れのなかで経済問題や地域

格差が生じ、さまざまな問題が出てきています。犯罪の増加と凶悪化、家庭内問題、青少年犯罪の低年齢化などが多発しています。このような難しい社会環境ではあります。が、子どもたちが自ら善悪の判断をして強く正しく行動できる人にならなければなりません。

本学園では、心の教育に力をいれ、それぞれが自己責任を持って行動できる生徒の育成に全力を挙げています。

学園は多くの方々から高い評価をいただき、学力の面でもスポーツの面でも良い実績を挙げています。

大学進学の際でも着実に実績を上げてきており、平成20年3月1日に卒業する第18期生は、275名で現在、国公立

大、関関同立など、次々と大学合格のうれしい報告が入ってきております。

クラブ活動の面では、発足2年目のラグビー部が着実に力をつけてきており、今年のラグビー部の全国大会花園の出場が視野に入ってきました。

昨年の夏に開催された全国高等学校総合体育大会には、滋賀県代表としてバスケットボール部男子、テニス部男子が出場し、活躍しました。また文化系の吹奏楽部や放送部も活躍しており、どの部も日常の地道な努力が結実してきたと思います。

本校で学ぶ生徒が21世紀を主体的に力強く生きるとともに、自らを律しつつ、他人を思いやる心や、感動する心を持つた感性豊かな若者に成長して、同窓会のご支援ご期待にこたえられるよう教職員が一致協力して、生徒の教育に邁進していく覚悟です。

今後、毎年卒業していきます生徒達が新しい同窓会員となるお世話になります。が、よろしくお願ひ申し上げます。同窓会員の皆さまには、今後ともご指導をお願い申し上げます。同窓会の益々のご発展と会員の皆様のご健康を祈念いたします。



平成18年度 聖パウロ学園同窓会 決算報告書

Table with 5 columns: 項目, 予算, 決算, 増減, 備考項目. Rows include 収入の部 (前年度より繰越, 14期生会費, etc.) and 支出の部 (会報発行費, 通信費, etc.).

上記残高を平成19年度に繰り越します

*この他に別途積立金が、郵便局の定額貯金で 3,616,000円あります。

以上、相違ありません。

平成19年8月26

会長 和田 充史

会計 土田 智史

監査の結果、相違ないことを認めます。

会計監査 小倉 雅史

平成19年度 聖パウロ学園同窓会 予算案

Table with 5 columns: 項目, 予算, 決算, 増減, 備考項目. Rows include 収入の部 (前年度より繰越, 16期生会費, etc.) and 支出の部 (会報発行費, 通信費, etc.).

教育施設の充実などに向けて、別途積み立て金より3,000,000円を20周年記念行事の為に学園へ寄付いたします。

平成19年度 総会開催される

本年度の総会は、8月26日に60名あまりの人数を集めて、母校チャペルにて開催されました。総会には、まず和田会長の挨拶と、昨年度の事業報告、本年度の事業計画が説明されました。また、全大会に常連となつてき



その後、総会は馬場校長先生(同窓会名誉会長)から挨拶をいただき、母校がますます発展していることや、創立20周年にむけての学園の動

同窓会では全国大会や近畿大会へ参加出場する部・クラブに積極的な支援をしていこうという方針を確認されました。また、母校は平成20年で創立20周年を迎え、10周年の時と同様に寄付を



き、それに対する同窓会への期待・依頼などのお話がありました。そして、引き続き会長から昨年度の決算報告と本年度の予算の説明がなされ、原案通り承認されました。(平成18年度決算と19年度予算については別表参照)。最後に事務局より同窓会のホームページ

ジ開設や同窓会会報のデジタル化についての説明がありました。

会はその後、場所を食堂に移し、懇親会に移り、同窓会会長、馬場先生よりご挨拶をいただき、母校の近況報告として学校紹介ビデオの観覧、出席教員の紹介、田中副校長先生より乾杯のご挨拶をいただきました。休日にも拘らずわざわざお越しいただいた先生方と昼食を共にしながら旧交を温める楽しい会となりました。和田会長は、今後の母校の発展のために同窓会をもっと充実したものにしていきたいと考えており、そのためにまずはこの総会、懇



親会に多くの方々の出席をお願いしたいと話しておられました。

懇親会に出席していただいた先生方

馬場校長・田中副校長・山川教頭・浅野先生・小山先生・池尻先生・村上先生・田中先生・後藤先生・麻田先生・拾井先生・鈴木先生・須藤先生・岡本先生・佐々木先生・竹内先生・窪田先生・村岡先生・亀田先生・塚田用務員

先生だより

創立20周年を迎えて

山川先生(中学教頭)

同窓生の皆さん、お元気ですか。私も、最近老眼が必要になって参りましたが、体だけは元気で毎日生徒達と楽しい日々を過ごしています。

ところで、本校は今年、創立20周年を迎えます。私は設立当初から勤めさせて頂いていますが、本当に「光陰矢の石」とはこのことを言うのでしょうか、アツという間の20年でした。今となれば、開校前の、生徒がいない教室で地理を教えると言ふことで、黒板の前に世界地図の略図を一生懸命練習していたことや、十数人の教員が職員室の片隅で初めて職員会議を開いたときの様子などが懐かしく思い出されます。当時のメンバーで、現在も勤務されているのは私の外に、田中寿先生、南部先生が

おられます。その後様々なことがありましたが、同窓生の皆様をはじめ地域の方々および関係者の皆様に支えられながら順調に発展を遂げ、多くの卒業生を送り出して参りました。

私は、現在、進路も担当しており、近年、進学実績も上がり、毎年50名から60名の生徒が国立に合格するまでになりました。他方、近年部活動も盛んになり、平成14年に野球部が甲子園に出場したのをはじめとし、男子バスケット部やテニス部、陸上部は毎年インターハイに出場するまでになりました。平成17年からラグビー部が創設され花園を目指して頑張っています。また、平成19年から県下初となりますアイスホッケー部が創設され、現在、瀬田の県立アイスアリーナで活動を行っています。中学校も少子化が叫ばれる中、毎年入学が増え、クラブ活動も盛んになり、生徒達も活気のある学園生活を送っています。

20周年は一つの節目ですが、今後更なる発展を目指して、頑張りたいと思います。今年、20周年を記念して様々な事業が計画されています。この事業が成功しますよう同窓生の皆様におかれましては、どうぞ協力頂きますようお願い申し上げます。最後になりましたが、同窓生の皆様のご多幸と、健勝をお祈り致します。

同窓生 短信

お悔やみ 4代目校長 故 押田 和男先生 平成18年5月26日ご逝去 (享年82才) 謹んでお悔やみ申し上げます。

- List of messages from alumni: 1期生 竹谷 健司, 2期生 北原友香子, 3期生 山本 和代, 4期生 清水 健作, 5期生 廣瀬 健太, 6期生 羽柴賀奈子, 7期生 西村 孝司, 8期生 山村 達也, 9期生 谷川みどり, 10期生 川原崎良祐, 11期生 田中 祐樹, 12期生 奥村 翔, 13期生 豊田 文字, 14期生 吉川 浩生, 15期生 井上 慎也, 16期生 高木 孝介, 17期生 宇野 善昭, 遠藤 亜希, 遠川崎 恵, 木下 美穂, 柴田 勝行, 相井 大樹, 中嶋 麻衣, 十川 景太, 橋 亜里紗, 西村 俊彦, 長谷川章太, 平尾佳奈江, 深草 由佳, 福嶋 俊樹, 森田 悠介.

かがやくひとたち

今年度から新しい企画として「かがやくひとたち」を掲載していきます。このコーナーでは、同窓生の中で、社会で活躍している人たちを紹介していきます。第1回目は、本校9期生にして、現在アマチュアのアーティスト「小倉四季」として活躍する本名、小倉雅文さんを紹介いたします。



高校生のときからよく絵を描いていました。ただそのときは、アーティストとかはまったく考えていなかったです。ただ好きなので描いていただけというもので、今みてもお絵描きみたいなものです。大学に進学してからはほとんど絵を描いておらず、ギターを弾き始めました。友人と街へ引き語りに出たこともあるんですよ。本格的に絵を描くようになったのは、大学を卒業して、社会人になってからです。最初はパソコンのイラストレーターというソフトで遊んでいたのがきっかけでした。そのソフトはかなり精巧にできていて、自分の想像以上に表現力のあるソフトに出会えたことが驚いたことを覚えてます。ただ、とにかく時間のかかるものではないですね。気がつくと日付が変わっていたなんてこともありました。高校生のときに勉強に対してもそれくらい集中力があつたらよかったですね。

現在は自動車製造の会社に勤めています。仕事の合間や休みの日に少しづつ絵を描いています。



「ひまわり」

アイスホッケー部 創部

アイスホッケー同好会は滋賀県アイスホッケー連盟、県体育協会、県立スポーツ会館などの全面的なご支援を得て、昨年の4月に創部しました。活動日は週6日で、そのうちの2日間はアイスアリーナで練習しています。現在高校生男子10人、高校生女子1人、中学生3人で活動しています。



僕たちの、10人中8人が光泉高校に入ってからアイスホッケーを始めました。最初の頃は、転んでしまったりフエンスに激突したりと、スケートリンクをうまく滑ることができず、経験者たちのように滑れるようになるか、とても不安でした。アイスアリーナで練習できない日はローラーブレードを使って、スケート練習をするなど工夫しています。そうして、日々の練習に一生懸命取り組み、今では試合に出られるくらいに上達することができました。さらに、昨年の12月にはインターハイ予選、12月には国民体育大会に滋賀県代表として出場しました。しかし、残念ながら勝つことはできませんでした。

今年は今まで以上に練習に真剣に取り組む、昨年実現できなかった公式戦での初勝利を目指して頑張ります。



Kosen Junior and Senior High School Ice Hockey Club was founded in April 2007. There are 14 members (3 Junior, 10 Senior, 1 Girl). We train everyday, and practice on the ice twice a week, focusing on fundamentals like skating, passing and shooting. Last year we took part in the Inter High Preliminary Tournament, and represented Shiga Prefecture at the National High School Athletic Competition. While we were unable to win any games at these tournaments they were good learning experiences that will help us in the future. Now we are practicing hard so that we can go to the Inter High Tournament next year.

聖パウロ学園のアイスホッケー同好会は2007年4月から活動しています。現在中・高合わせて14名で活動しています(中3名、高10名、女1名)。週2回は滋賀県立アイスアリーナで氷上練習があり、残りの日は学校での陸上練習があります。去年滋賀県から初のインターハイブロック予選と国体のブロック予選に出ました。試合に勝つことができませんでしたが、いい経験になりました。来年のインターハイ本戦出場を目指して日々練習に励んでいます。

創部にあたり

顧問 山田 幸伸

顧問 クリストファー ムンジオリ

同窓会事務局 より

① 会員の増加に伴い、同窓会の変革が求められています。ホームページの活用や、メールによる情報交換などの検討をすすめ、経費節減をはかりながら、有意義な同窓会活動を展開していきたいと考えています。ご協力をお願いします。

② 同窓会総会および懇親会での様子や同窓生の現在の様子を、同窓会ホームページに掲載します。そこで、同窓生の方には写真や名前の掲載許可を頂きたいと思っております。掲載に差支えがある場合は、同窓会事務局までご報じたければ掲載いたしません。ご協力をよろしくお願いいたします。

③ 最近、同窓会などの担当者を語り、調査の名目で住所・携帯電話番号・生年月日などの個人情報をお聞き合わせる電話が頻繁にかかっています。事務局ではそのような問い合わせは一切しておりません。本校事務局とは全く関係がありませんので十分にご注意ください。

④ 今年度から、同窓会会報の記事として活躍する同窓生を紹介していきたいと思っております。光泉中学高等学校の卒業生でプロアマ、分野を問わず、活躍している人を広く募集しています。同窓生の中で、知人・友人にさまざまな分野の中で活躍している人がいましたら、同窓会事務局までご連絡ください。ご協力をよろしくお願いいたします。